令和９年度全日本特別支援教育研究連盟
第61回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会
第63回東京都特別支援教育研究大会夏季研究大会（第一次案内）

大会テーマ　「一人一人が輝く深い学びの実装」
～ 多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに ～

令和９年度全日本特別支援教育研究連盟 第61回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会 第63回東京都特別支援教育研究会夏季研究大会（以下、「関東甲信越地区東京大会」）を、下記のとおり開催いたします。「一人一人が輝く深い学びの実装」～ 多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに ～をテーマに関東甲信越地区で取り組まれている特別支援教育の実践や研究について学び合い、特別支援教育の更なる充実・発展につなげてまいりたいと存じます。多くの皆様の御参加をお待ち申し上げます。

主　催
全日本特別支援教育研究連盟
関東甲信越地区特別支援教育研究協議会
東京都特別支援教育研究会

後　援
東京都教育委員会
東京都特別支援学校長会
東京都特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会

大会実施要項

1. 大会テーマ　「一人一人が輝く深い学びの実装」
～ 多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに ～

2. 趣　旨

現在、学習指導要領の改訂に向けた作業が進んでおり、その告示を令和９年３月に控えています。今回の改訂の主な柱として、「主体的で対話的な深い学びの実装」・「多様性の包摂」・「実現可能性の確保」の３つが挙げられています。

そこで、関東甲信越地区東京大会の主題は、『一人一人が輝く深い学びの実装　～多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに～』としました。

本大会は、子供たち一人一人は、社会の中でかけがえのない存在であり、その人らしさを輝かせて生きていくこと、つまり、共生社会を生きがい・やりがいを持って主体的に生き抜く人を育てることに焦点を当て、この実現のために学校教育がすべきことは何か、障害がある・ないにかかわらず、人と人との支え合いを実現するためには何が必要か、参加者の皆様が共有できることを目的としています。

本大会では、御参会の皆様の、普段着の日々の教育活動や授業実践を分かち合い、活発な御協議をいただくとともに、明日からの授業実践への確かにつなげるための具体的な知見と深みのある議論を創出していきます。

3．大会期日　令和９年８月３日（火）

4．会　　場　国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052　東京都渋谷区代々木神園町 3-1
TEL：03-3469-2525

5．日　　程（予定）

9:00　9:50　10:20 10:30　11:45 12:00　13:30　16:30

受付	開会行事	休憩	記念講演	移動	昼食及び分科会打ち合わせ 関ブロ理事会	分科会	分科会終了後は、各分科会で解散

6．記念講演：「学習指導要領の改訂の方向性」

講師　：　現在選定中

7．分科会

	分科会	内 容	提 案	
1	教科別の指導(国語)	言語活動や生活に生きる学びを大切にした教科指導の在り方	栃木	東京
2	教科別の指導(算数・数学)	算数・数学的な考え方を、確かな力にする指導の在り方	茨城	東京
3	教科別の指導(音楽)	表現することを楽しみながら、豊かな情操を養い表現力高める教科指導の在り方	千葉	東京
4	教科別の指導 (体育・保健体育　)	意欲的な体つくりと発達段階に応じた教科指導の在り方	長野	東京
5	各教科等を合わせた指導 (生活単元学習)	児童生徒が見通しをもち主体的に取り組む特色ある学習	神奈川	東京
6	自閉症等の児童生徒への対応	児童生徒の理解と効果的な指導や支援の工夫	埼玉	東京
7	交流及び共同学習	共に学び合い育ち合う交流及び共同学習の在り方	新潟	東京
8	キャリア教育(作業学習含む)	社会自立を目指すキャリア教育と職業教育（作業学習含む）の在り方	群馬	東京
9	アセスメントに活かす発達検査 （ワークショップ）	発達検査『WISC-Ⅴ』や『太田ステージ』についての基本的な考え方と、アセスメント等への活用についてのワークショップを含めた講演。	東　京	
10	ICT の活用事例 （ワークショップ）	ICT の活用事例の紹介と、実際にアプリを使用したワークショップを含めた講演。	東　京	

(1月に依頼　今年度中に報告(2月まで(2月までOK)

※ 東京大会は 10 分科会を開催します。第９と第 10 分科会は、実習形式のワークショップの研修会となります。

8．分科会講師

	分 科 会	講　師
1	教科別の指導　（国語）	明星大学　客員教授　　菅原　眞弓　様
2	教科別の指導　（算数・数学）	全国特別支援教育推進連盟　副理事長　横倉　久　様
3	教科別の指導　（音楽）	洗足学園大学　教授　吉田　真理子　様
4	教科別の指導　（体育・保健体育　）	順天堂大学　教授　渡邉　貴裕　様
5	各教科等を合わせた指導（生活単元学習）	明治学院大学　教授　高倉　誠一　様
6	自閉症等の児童・生徒への対応	東京家政学院大学　助教　原田　晋吾　様
7	交流及び共同学習	東京都教育委員会指導部　未定
8	キャリア教育（作業学習含む）	弘前大学大学院教授　菊地　一文　様（仮）
9	アセスメントに活かす（発達検査） WISC-Ⅴ	TASUC 株式会社　機関コンサルテーション統括 綱川　貴　様
	アセスメントに活かす（発達検査） WISC-Ⅴ	TASUC 株式会社 未定
	アセスメントに活かす（発達検査） 太田ステージ	PhD・公認心理師・学校心理士　立松　英子　様
10	ＩＣＴの活用事例	一般社団法人 SOZO.Perspective　代表理事　海老沢 穣 様

8．大会申込み等

・大会申し込みホームページは、令和9年５月頃に開設いたします。詳細は、第二次案内を御覧ください。

・大会参加費は、2,000 円(東京は 1,000 円)を予定しております。申し込みの詳細は、第二次案内にてご案内いたします。第二次案内は、令和９年４月下旬頃にお届けいたします。

9．大会事務局

事務局長　小牧 来太　(東京都千代田区立富士見小学校 校長)

〒102-0071 千代田区富士見 1−10−3
電話：03-3263-1006　FAX：03-3288-3416
Mail：t2000424@city-chiyoda.ed.jp

事務局次長　高橋 健一（東京都品川区立荏原平塚学園 主任教諭）

〒142-0051 品川区平塚 3−16−26
電話：03-3782-7770　FAX：03-3782-9137
Mail：takahashi-ken@city.shinagawa.tokyo.jp

※ お問い合わせは、事務局次長 高橋までご連絡ください。よろしくお願いいたします。